

# 社会資本整備総合交付金事業 永平寺地区



 福井県 永平寺町

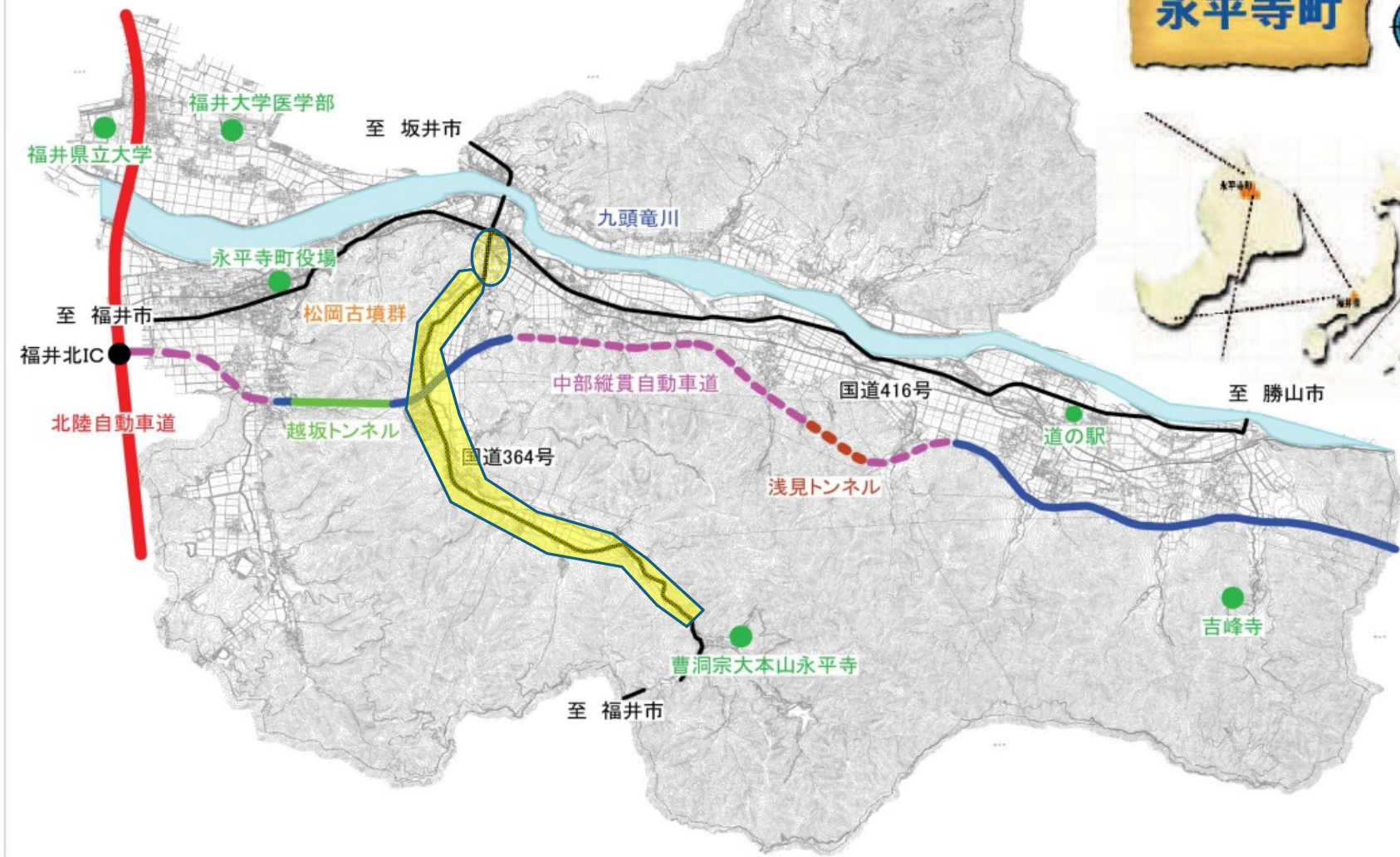


えい坊くん



社会資本整備 箇所

# 永平寺町



1:45000

# まちづくり 主な取り組み

## \* ①道路網の整備

- 中部縦貫自動車道整備
- 道の駅整備  
永平寺温泉「禅の里」
- 永平寺口駅周辺整備  
(社会資本整備総合交付金事業)
- 永平寺線跡地(鉄道敷)  
遊歩道整備  
(社会資本整備総合交付金事業)



中部縦貫自動車道整備

# 社会資本整備総合交付金事業

H21～H26の6年間で事業を実施  
今年度が最終年度になります。

## 計画の目標

大目標:「大本山永平寺の玄関口にふさわしい、笑顔が満ちあふれる舞台づくり」

目標1: 人々が集い、活動する観光交流拠点づくり

目標2: 安全で快適な交通環境づくり

目標3: まちの賑わいを生む仕掛けづくり

- 永平寺口駅周辺整備
- 永平寺線跡地(鉄道敷)  
遊歩道整備



# 永平寺口駅周辺整備

- \* 永平寺口駅周辺は鉄道駅だけでなく、永平寺町の東西方向の幹線道路となる国道416号と大本山永平寺へと続く国道364号の交差点に隣接しており、「交通結節拠点」、「永平寺の玄関口」とも言うべき地区である。
- \* しかし、本地区内では「駅へのアクセス道路が狭く、観光客からは分かりづらい」、「バスの停留所が線路を挟んだ北側に位置しており利便性・安全性が低い」、「バスが通行できる道路が一車線しかなく運行サービス面で不便」など、公共交通機関の利便性に問題がみられる。また、駅周辺には未利用地が多く、「永平寺の玄関口」という位置づけにふさわしい賑わいがみられない状況である。
- \* これらの状況を改善するために、本計画を行っております。

# 永平寺口駅周辺整備の鳥瞰図



# 永平寺口駅周辺整備の概要

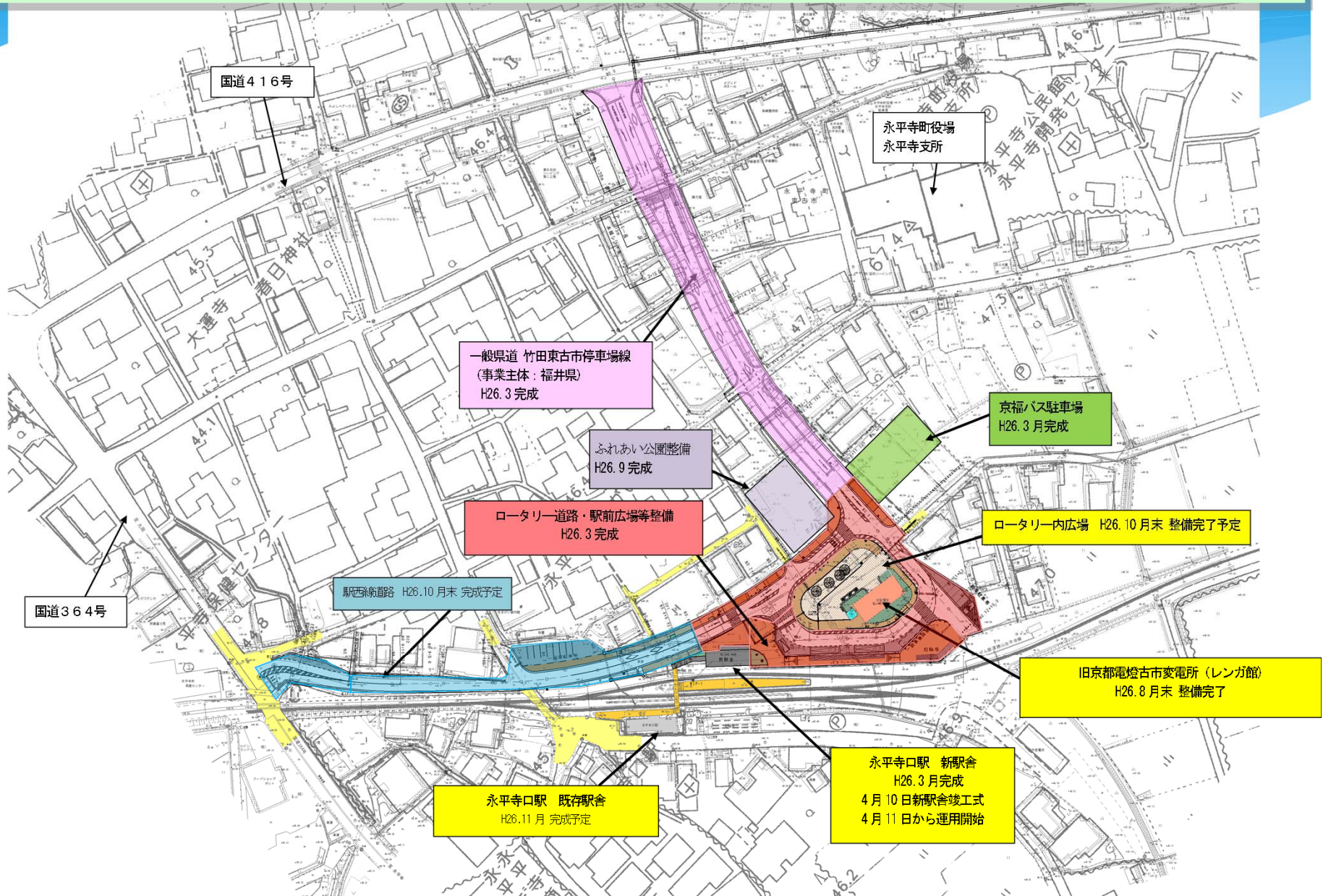
①総事業費 約4.1億円

②総工期 平成21年度～平成26年度

③内容

- 永平寺口駅舎(多目的トイレ併設)木造平屋瓦葺
- バスシェルター・駐輪場・駅前ロータリー線整備{停車帯3.0m・車線幅員4.5m・路肩1m(総幅員8.5m)} L=260m
- 旧京都電灯(株)古市変電所跡整備(レンガ館)
- 東古市ふれあい公園改修・ロータリー内広場整備
- 旧永平寺口駅舎の改修・永平寺口駅西線整備

# 永平寺口駅周辺整備計画図





# 永平寺口駅周辺 整備前 状況

駅前ロータリー線・バスシェルター  
整備予定地



# 永平寺口駅周辺 整備後 状況

永平寺口駅



多目的トイレ



駅前ロータリー線・バスシェルター



駐輪場

# 永平寺口駅周辺 整備前 状況



旧京都電燈古市変電所（レンガ館）改修前



# 永平寺口駅周辺 整備後 状況



# 永平寺口駅周辺整備前 状況

旧永平寺口駅舎



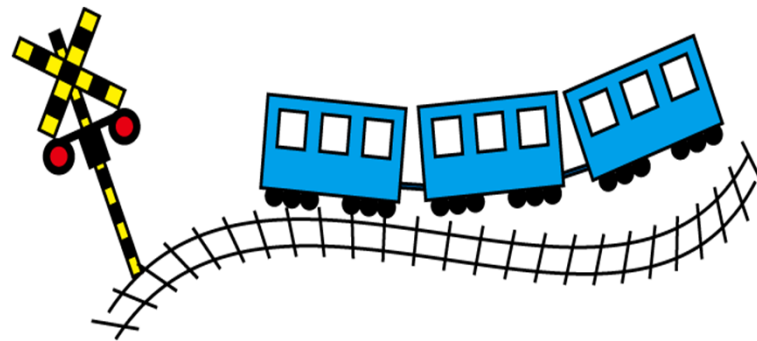
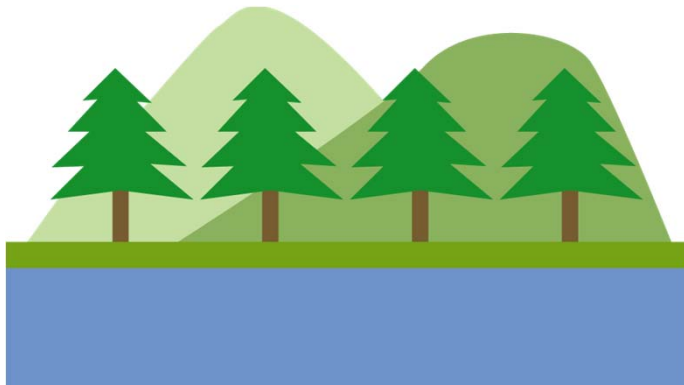
大正3年に建設され  
登録有形文化財指定



現在の場所に保存し、住民  
憩いの場・観光情報発・鉄道  
歴史資料展示の場として現  
在整備中です。

# 永平寺線跡地遊歩道整備

- \* この整備事業は、旧京福電鉄永平寺線跡地を大本山永平寺へつながる「参詣道」と位置づけ、沿線の緑豊かな山並みや、田園風景等、自然と一体となった遊歩道、として整備を行い、地域の活性化を図ることを目的とした事業です。



# 永平寺線跡地遊歩道整備

①総事業費 約2.3億円

②総工期 平成21年度～平成26年度

③内容

- \* ・東古市遊歩道起点部より門前バス停まで約6.2kmを整備
- \* ・アスファルト舗装3m 路肩50cm  
荒谷地区から門前に掛けては、1m舗装 2mバラスト舗装  
(砂利道)
- \* ・各駅舎跡地に休憩所 や 植栽
- \* ・転落防止柵の設置





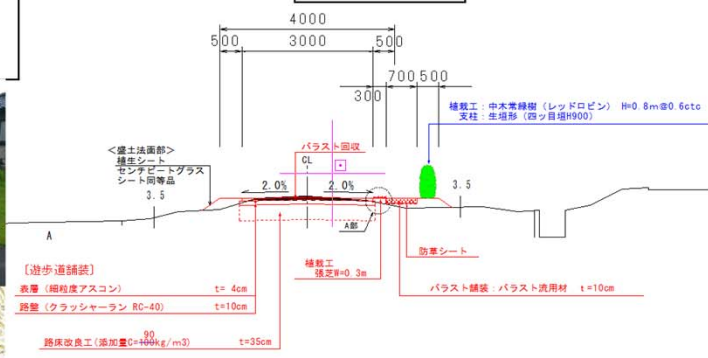
# 永平寺線跡地遊歩道 説明図



起点  
高橋7字32番1号



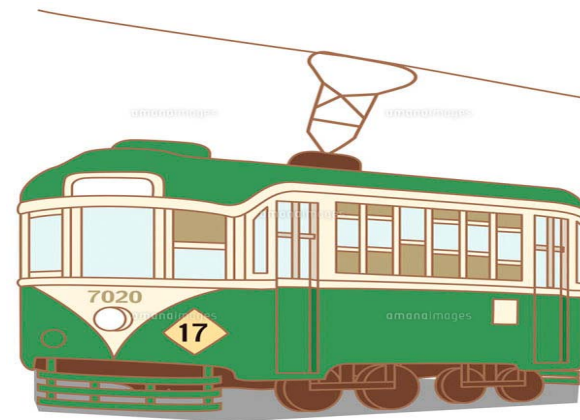
標準断面図



終点  
志比54字53番3号



# 永平寺線跡地遊歩道 整備前 状況



# 永平寺線跡地遊歩道 整備前 状況



京善橋(鉄橋)

# 永平寺線跡地遊歩道 整備後 状況



跡地ウォーキング大会

# 永平寺線跡地遊歩道 整備後 状況



京善橋 改修後



# 永平寺線跡地遊歩道 整備後 状況



東古市休憩所



市野々駅跡休憩所



京善駅跡広場



荒谷休憩所



門前休憩所

# まちづくり・住まいづくり 社会資本整備総合交付金事業



全国への情報発信の1つとして、永平寺線跡地遊歩道の名称を募集いたしました。全国から700件を超える応募をいただき、4月上旬には、遊歩道名称が「永平寺 参ろ一ど」に決定しました。

今後は、遊歩道を有効活用し、永平寺ブランドの1つとして位置づけ、全国に情報発信していきたいと考えています。

永平寺口駅周辺整備事業と一体となった永平寺線跡地遊歩道整備事業により、「永平寺の玄関口」から永平寺町の自然を満喫しながらの大本山永平寺への参拝をアピールし、えちぜん鉄道を利用したウォーキングイベント等を開催していければと考えます。

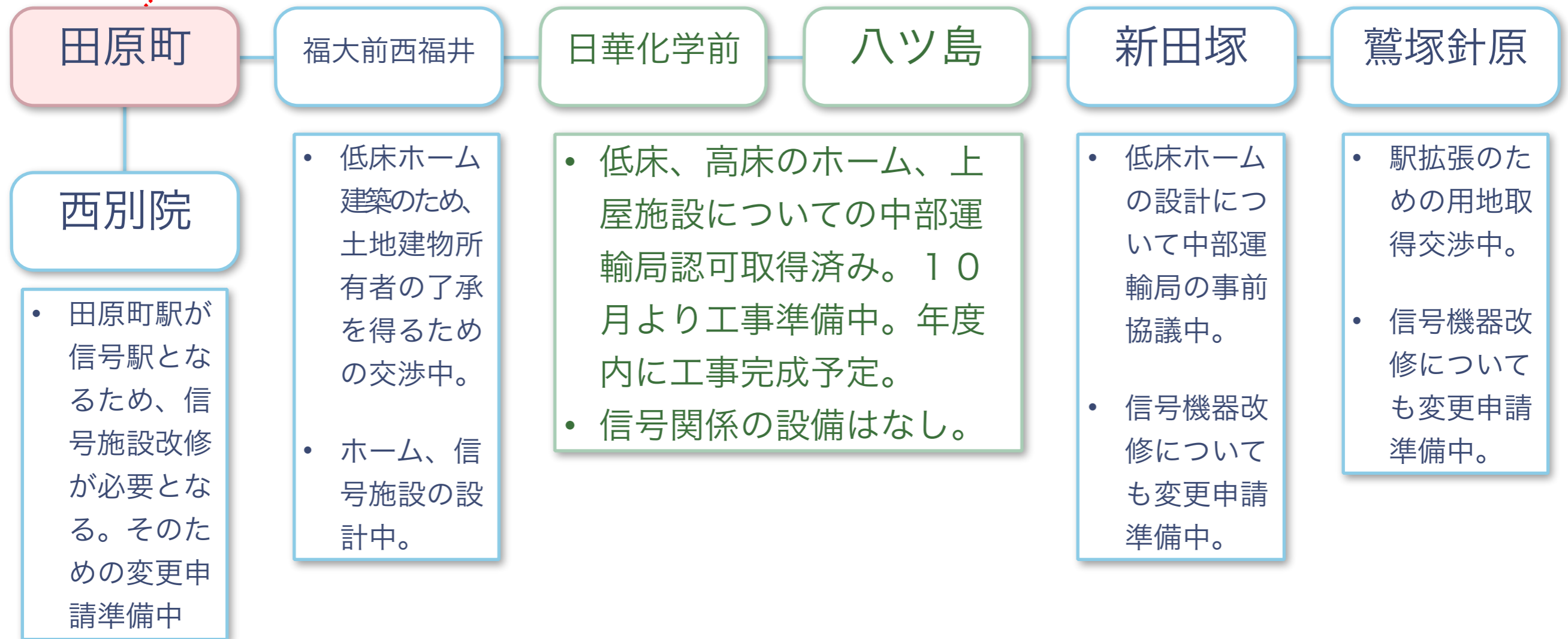
ご清聴 ありがとうございます。





# 各駅の進捗状況

- 駅全面建て替えのため、仮設ホームの建設準備中。11月末から12月をめどに仮設運用を開始し、その後現駅舎を取り壊し。
- ホームおよびその上屋、信号施設等についての認可申請事前協議中。詳細設計完了後、えちぜん鉄道は北側の駅舎を建設予定。



# 田原町駅パース



福井鉄道駅舎



えちぜん鉄道駅舎

← フェニックス・プラザ



えちぜん鉄道駅舎

福井鉄道駅舎

← フェニックス・プラザ

## LRV外観 (イメージ図)



- ・目指したのは「あたたかく」、「やさしい」車両
- ・ベース車両からの制約条件が多い中で全面顔部分をベースに丸みを表現
- ・当社コーポレートカラーである黄色を採用し、「あたたかく」「信頼」「安全」を表現
- ・黄色の種別は全世界で親しまれている、海外製の自動車を参考に採用

基本コンセプトをデザインで表現するにあたり、繊維産地である地元企業の協力のもと、生地だけでなく、シート自体の機能的かつ繊細な形状デザイン、生地カラーや模様の厳選など、車内空間のトータルデザインに、自動車で培った技術と感性を活かしています。

## LRV車内 (イメージ図)



車内をシンプルに、かつ機能的に使える様、「手すり」「吊皮」を配置

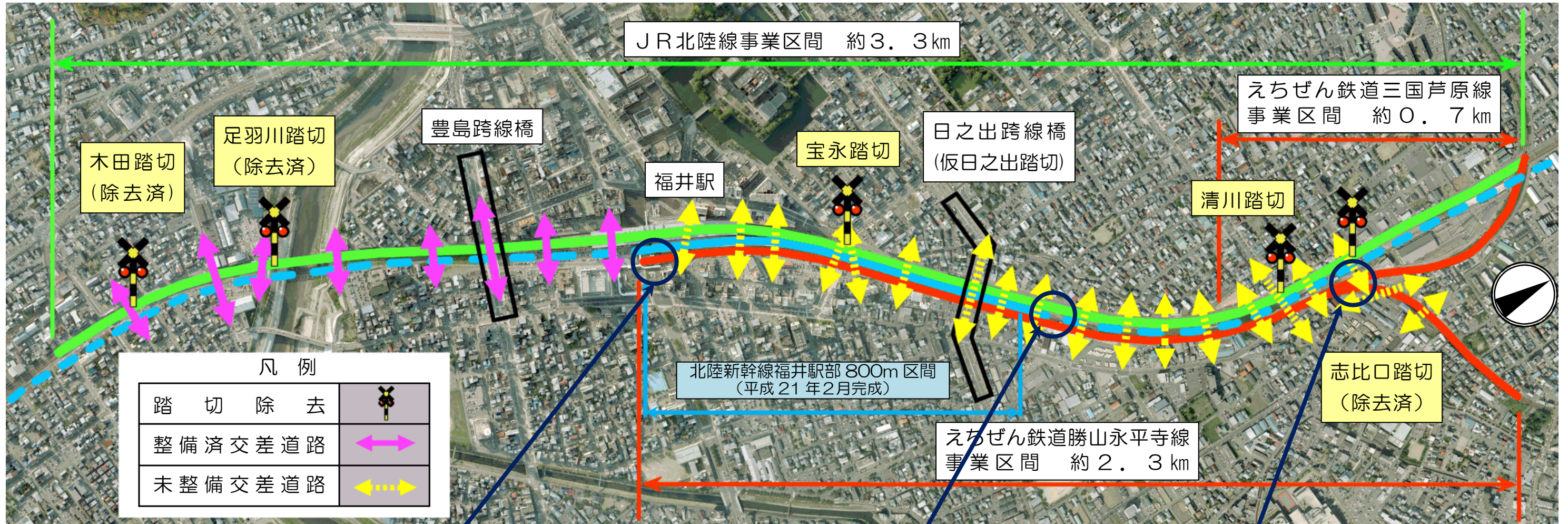
両天井に「荷棚」と「掲示枠」を追加

シート幅・厚みを大きくし快適性向上および通路側にはサポートを追加し横揺れによる転落に対応

「角」を「丸」に変更

ベースとなる車両から、シート形状、寸法の見直し、限りあるスペースを有効利用出来る荷棚の追加、手すりや吊皮の位置を再定義するなど、お客様視点での改善を尽くしました。また鉄板の角部分を丸くし安全性も考慮して設計しました。

# 福井駅付近連続立体交差事業について



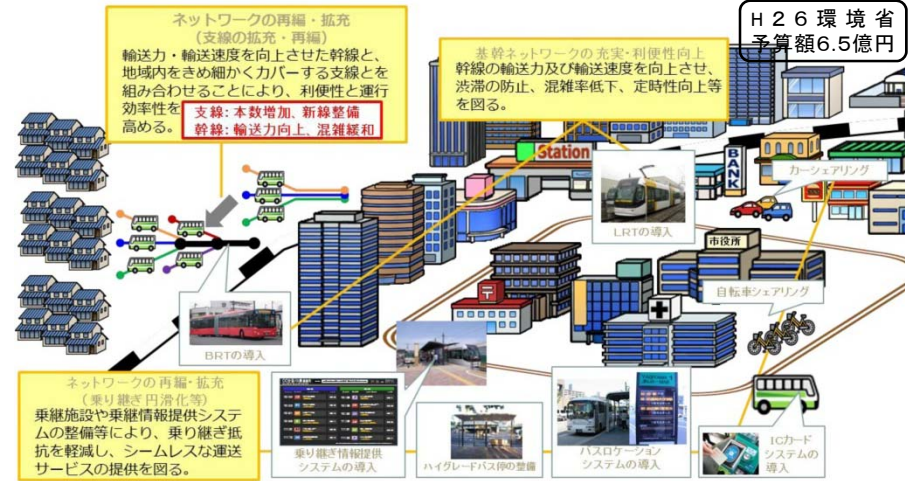
## 仮線工事状況



# 低炭素化に向けた公共交通利用転換事業

## 事業概要

- 事業目的** 公共交通ネットワークの再構築や利用者利便の向上に係る取組みを支援し、マイカーからCO<sub>2</sub>排出量の少ない公共交通への転換を推進する。
- 事業概要** 地域の協議会におけるCO<sub>2</sub>を目標に掲げた公共交通に関する計画の策定および当該計画に基づく取組みの経費について支援する。
- 事業スキーム**
  - 【補助対象者】 地域公共交通活性化再生法などに基づく協議会に属する民間企業等
  - 【補助割合】 1/2
  - 【補助の対象となる取組み】
    1. 基幹ネットワークの充実・利便性向上（BRT・LRTの導入等）
    2. ネットワークの再編・拡充（支線の再編・拡充、乗り継ぎ円滑化等）



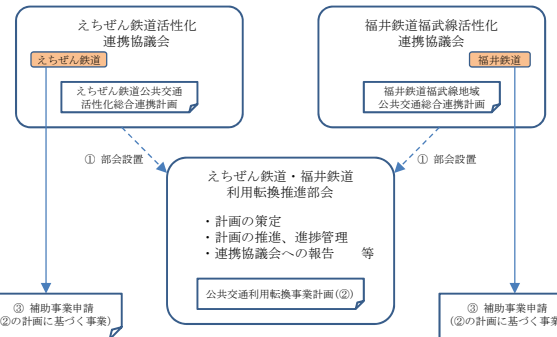
## 福井県公共交通利用転換事業計画

- 作成主体** えちぜん鉄道・福井鉄道利用転換推進部会
- 計画を実施する範囲** えちぜん鉄道勝山永平寺線・三国芦原線および福井鉄道福武線・駅前線の沿線地域  
 （福井市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町）
- 公共交通への転換を図るための事業**
  - ① えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れ
  - ② 福井駅前線延伸・短絡線整備
  - ③ 路面軌道の改修・電停の改良
  - ④ カーシェア運動や自転車利用の促進 等
- 計画年度** 平成26～31年度

## えちぜん鉄道・福井鉄道 利用転換推進部会

### 委員および事務局

	所属	役職	所属	役職
委員	えちぜん鉄道	社長	福井鉄道	社長
	県交通まちづくり課	課長	福井市都市戦略部	部長
	勝山市市民・環境部	部長	鯖江市総務部	部長
	あわら市市民福祉部	理事	越前市企画部	部長
	坂井市総務部	部長	永平寺町総務課	課長
事務局	県交通まちづくり課			



## 福井県での採択事業

### 採択事業

えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れ

### 事業概要

えちぜん鉄道三国芦原線と福井鉄道福武線の区間において、車両の相互乗り入れの実現に必要な鉄道施設の整備、LRV車両の導入、安全対策強化等を行い、福井市を核とした鉄道による嶺北一円のネットワークの形成・充実を計り、えちぜん鉄道・福井鉄道利用者の利便性を向上させることで、自動車から鉄道への利用転換を促進する。